

合同教育研究会議（3月24日開催）議事概要

1 開催日時

令和3年3月24日（水）13:00～13:55

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、堀江副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、橋本企画本部長、劉国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、菊池盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、（事務局）鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、藤村企画室長、高橋宮古事務局長、八木主幹、鈴木主幹

4 会議の概要

議事録確認

前回国議3月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

（1）令和3年度計画（案）について（資料No.1）

橋本本部長から資料に基づき、公立大学法人岩手県立大学令和3年度計画の案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

協議事項

（1）岩手県立大学評価委員会規程の一部を改正する規程案について（資料No.2）

藤村室長から資料に基づき、岩手県立大学評価委員会規程の一部を改正する規程案の要綱について説明があり、協議の結果、原案のとおり承認された。

委員から、この条文では、部局の長の意見を聴かなくてもよいと読み取れるのではないかとの質疑があり、これに対し、藤村室長から、部局の長の意見を聴くよう運用を徹底するとの回答があった。

委員から、その運用はどのように担保されるのかとの質疑があり、これに対し、藤村室長から、内規のような書類を作成し、引き継ぎながら運用していくとの回答があった。

報告事項（口頭報告）

（1）令和2年度合同企業等説明会（対面・WEB）の開催結果について（資料No.3）

似鳥本部長から資料に基づき、令和2年度の合同企業等説明会（対面・WEB）の開催結果について報告があった。

委員から、この合同企業説明会の参加者が、各学部とも昨年度から減少している中で、盛岡短期大学部は昨年度から大幅に増えているが、何か特別な働きかけをしたのかとの質疑があり、これに対し、似鳥本部長から、キャリアデザイン科目で働きかけがあったと思われ、実際に合同企業説明会に盛岡短期大学部の教員が毎日来ていたことから、支援があったと感じているとの回答があった。

委員から、学部の就職担当の働きかけ方で、学生の動きに差が出ているようであり、コロナ禍の状況で学生の動きが消極的なので、各学部において学生に積極的に働きかけてほしいとの発言があった。

(2) デジタルを活用した大学・高専教育高度化プランへの申請結果について (資料 No. 4)

藤澤室長から資料に基づき、令和3年1月に申請していた文部科学省補助事業「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の審査結果について報告があった。

委員から、今後、LMSを含む教育支援システムや事務支援システムが新しく導入されるので、このシステムで集められるデータや今回の申請で出されたアイデアを今後の大学運営に活かしてほしいとの発言があった。

鈴木学長から、この文部科学省補助事業の趣旨は崇高だが、実際には、既に進んでいる取組が採択されていることを踏まえ、DX化に関しては、リカレント教育が重要になってくるので、その取組をとりまとめて外部資金事業に組み込んでほしいとの発言があった。

(3) 令和2年度就職先企業アンケートの結果について (資料 No. 5)

橋本本部長から資料に基づき、令和2年度の就職先企業アンケートの結果について報告があった。

委員から、このアンケート調査の実施間隔について質疑があり、これに対し、藤村室長から、見込評価に向けて前回調査から4年後、その次は認証評価に向けて2年後に実施しているとの回答があった。

委員から、この調査は、評価に合わせて定期性があり、経年変化を迫る有用なデータとなつてことを考えると、いきなり調査項目を変えるのは難しいので、回答の選択肢を工夫していろいろな指標に使えるデータにしてほしいとの発言があった。

鈴木学長から、首都圏の企業は県内企業と比べて学生の採用意欲が高いと感じると、学生が言っており、県内就職率を上げるため、大学が間に入り、県内企業の採用意欲を上げていくことを検討してほしいとの発言があった。

(4) 令和3年度夏のオープンキャンパス(滝沢キャンパス)の開催について (資料 No. 6)

橋本本部長から資料に基づき、令和3年度夏の滝沢キャンパスでのオープンキャンパスの開催について報告があった。

鈴木学長から、秋又は大学祭でのオープンキャンパスも開催するのかとの質疑があり、これに対し、橋本本部長から、例年は、秋や大学祭でもオープンキャンパスを開催しているが、開催方法については4月以降に検討するとの回答があった。

鈴木学長から、デジタルオープンキャンパスを開催し、本学について関心が高い人が多くいた場合は、このデジタルオープンキャンパスを支える意味で、実際に一人一人にキャンパスに来てもらうことを検討してほしいとの発言があり、これに対し、橋本本部長から、4月に調整会議を開催し検討するとの回答があった。

- (5) 令和3年度 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部、学長、副学長等名簿について(資料 No. 7)

鈴木事務局次長から資料に基づき、令和3年度の岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部、学長、副学長等名簿について報告があった。

報告事項(資料報告)

- (1) 令和3年度学年暦について(滝沢・宮古)(資料 No. 8)
(2) 令和3年度入学式(滝沢キャンパス)の実施概要について(資料 No. 9)
(3) 「大学等における修学の支援に関する法律等に基づく学業成績の基準等に関する要領」の制定について(資料 No. 10)
(4) 令和2年度第6回就職支援連絡調整会議の開催結果について(報告)(資料 No. 11)
(5) 令和元年度卒業年次生アンケート自由記述意見への対応状況について(報告)(資料 No. 12)
(6) デジタルオープンキャンパス2020開設結果について(資料 No. 13)
(7) 令和2年度岩手県立大学ファクトブックの作成について(資料 No. 14)

その他

なし